

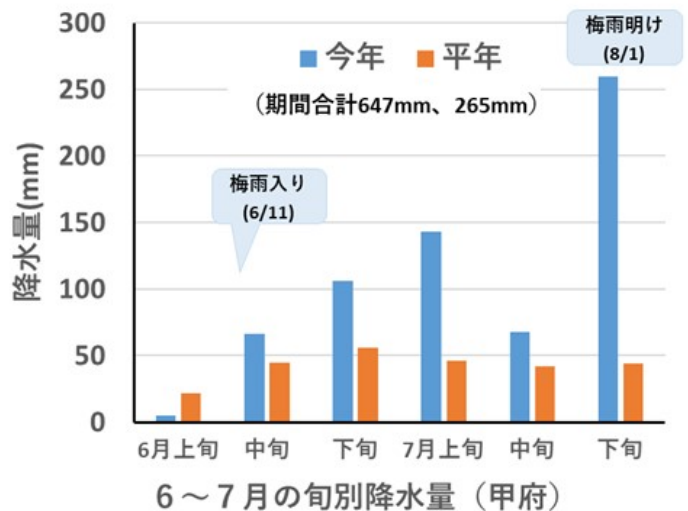
果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



長雨による影響に注意



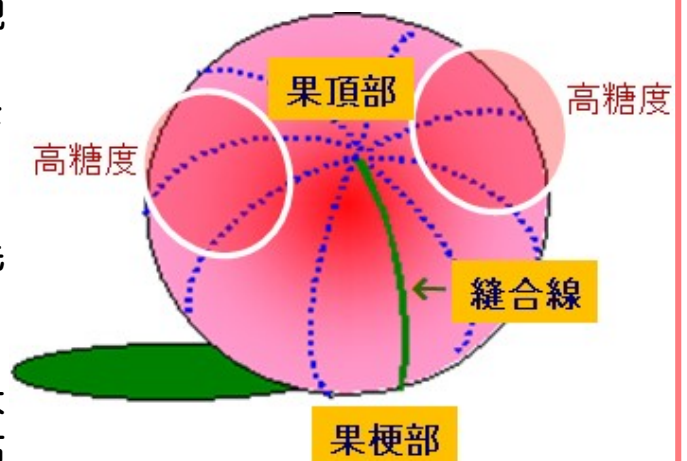
- 記録的な長雨の続く今年の梅雨は、8月1日に梅雨明けを迎えました。
- 県内のモモ生産は標高の高い地域や晩生種を残して大半が終了しています。生産農家では御身体とともに樹の疲労を癒す管理が必要です。
- この機会に自園の土壌の様子を十分に観察しながら、今後、発生が予想される台風や秋の長雨に備えましょう。
- モモは他の果樹にくらべて根の酸素要求量が高く、排水不良の園では根が傷み易いので早急な対応が必要です。
- また、樹体が日焼けを起こさない範囲で、葉に太陽光線が十分に当たるように新梢管理を見直します。同時に、モモハモグリガ等の病害虫の防除を徹底し、樹を健全に保ちましょう。



モモはどの部分が一番おいしいか？



- まだ果実がある時期の雑話題です。1個の果実中にはどのような糖度のバラツキと規則性があるのでしょうか？
- 果実を120部分に分けてそれぞれの糖度を測りました。その結果、糖度は縫合線部、果梗部（付け根部）、種に近い深い部分で低く、左右の真横部分、果頂部（果実の先端）、果皮表面近くで高い傾向にありました。
- 以上より、同じ果実内でも部分により最大4度の糖度差がありました。糖度が最も高く、おいしいのは縫合線の真横の果頂部にかけての浅い部分でした。



モモ果実内における糖度の高い部分(嶺鳳)